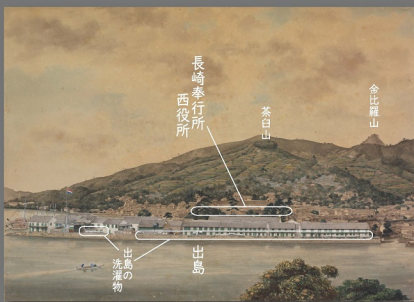


古写真・資料にみる県庁舎跡地



江戸時代末の出島と長崎奉行所西役所

資料名：＜出島図＞（部分）
 （長崎歴史文化博物館収蔵）
 作者：不詳（川原慶賀工房カ）
 製作年：万延元年（1860）頃（推定）



＜出島図＞全体



絵画の視線

国土地理院地図に「長崎諸役所絵図」（天保9）（長崎歴史文化博物館蔵）の
 トレース図を貼付加工した概略平面推定図

大浦方面から撮影した出島の写真＜出島写真＞（出島の形状、建物から1860年頃と推定）を精密に模写した絵画です。

ほとんどの建物が洋館に替わった出島のすぐ奥、松の木のあいだに長崎奉行所西役所の屋根が見えます。遠く茶臼山の麓には、本蓮寺や福濟寺のすがた、山肌の墓地も描かれています。